

沼田警察署協議会議事録

(令和6年度第3回定例会議)

開催日時	令和6年12月11日(水) 午後4時から午後5時15分までの間		
開催場所	沼田警察署 大会議室		
出席者	委員 (定数9人)	宇敷会長 大島委員 生方委員 千明委員 星野(華)委員 山田委員 須藤委員 星野(敏)委員 西山委員	計 9人
	警察	島方署長 間瀬副署長 齋藤警務課長 絹川生活安全課長 藤宮地域課長 吉田交通課長 酒井警備課長 刑事課長代理 警務係員	計 9人
	その他		
議 事 の 概 要			
1 挨拶概要 (1) 会長挨拶 前回の定例会議以降、管内は比較的平穏に推移していると聞いているが、各種メディアで「闇バイト」が報道され、体感治安は厳しい。 年末を控え、各種警戒活動も行われるところであるが、寒さも一段と厳しくなっており、健康に留意して引き続き治安維持に尽力いただきたい。 (2) 署長挨拶 現在、管内の治安情勢は落ち着いているものの、会長の話にあった「闇バイト」は近県で発生しているため、県内での発生が危惧され、県警を挙げて様々な取組を実施している。 また、本年は交通死亡事故が急増し、管内では検問や警戒を強化しているほか、冬の交通安全運動出発式では小学生の一日警察署長を招き、交通機動隊、高速隊など本部と合同で実施した。 15日からは年末特別警戒が始まり、地域の方が安心して新年を迎えられるよう署員一同、事件事故の抑止に努めるので、皆様の御理解と御協力をお願いしたい。 2 動画放映 デジタルサイネージを使用し、石破内閣総理大臣の犯罪被害者等支援についてのビデオメッセージを放映し視聴した。 3 概況説明事項(説明者 署長 刑事代理 生活安全課長 交通課長 地域課長) 管内及び県内の犯罪等発生検挙概況(R6年10月末)について説明を行った。 (1) 刑法犯認知・検挙状況(刑事課長代理) (2) 特殊詐欺発生状況と特殊詐欺等の手口の変遷について(生活安全課長)			

- (3) 交通人身事故発生状況と死亡事故発生に関する分析結果（交通課長）
- (4) 山岳遭難発生状況（地域課長）
- (5) 110 番通報受理状況（地域課長）
- (6) 警察署別治安状況（署長）

4 協議（○～委員、●～警察）

(1) いわゆる「闇バイト」に関する防犯対策について

- 事前に実施した委員へのアンケートで委員が効果的と考える対策は、以下のとおり

- ① センサーライト設置、② 防犯カメラ設置、③ 強化ガラス等の設置
- ④ 音の出る砂利や警報器設置、⑤ 犬を飼う

- 効果的な防犯対策について、アドバイスをもらいたい〔質問〕

- アンケートの対策はいずれも有効、防犯を意識した生活が有効である。〔回答〕

例えば、管内では不用品回収やセールス名目の業者に関する警察への通報が増えていと感じる。このように業者への対応を安易にしないことや家族や警察に通報することなど、地域の防犯意識を高めていただきたい。

- 知っている地域では、10軒以上の空き家が泥棒に入られ、そのうち1軒は廃業した民宿で犯人と鉢合わせしそうなになったと聞いている。こんなときどのような対処をしたらいいのか。〔質問〕

- その場から早く逃げて、身の安全を図ることはもちろん、空き家に入られないように、空き家に見えない環境整備や鍵をかけるなどの基本的な防犯対策も必要〔回答〕

- ラジオで、強引な買取り業者にネックレスを持って行かれたと聞いた。このような事案はよくあるのか。〔質問〕

- 私の場合、自宅を訪問してきた業者に対しては、信用できないので、利用していない。泥棒などの下見かもしれないので、捨てる物があつたとしても「処分した」と言って断っている。〔意見〕

- 警察においても強引な業者に関する相談を把握している。悪質な業者は、不要な指輪や着物の処分を名目に家の中の様子を見たり、物色するケースが多い。普段から戸締まりをし、インターホン越しに対応するなど、相手を家に入れないことが大切である。〔回答〕

(2) 防犯カメラの設置について

- 個人で防犯カメラを設置する家庭が増えているが、まだまだ少数と認識している。

また、個人宅のカメラは、撮影範囲が狭く、効果が期待できないのではないか。〔意見〕

- 公民館や道路に設置すれば、犯人の特定や抑止効果が期待できる。〔意見〕

- 各市町村で、ある程度防犯カメラを設置していると思うが、どのくらい設置されているのか。〔質問〕

- 具体的な設置は、各自治体で行っており、警察でも設置状況を一部把握している。自治体に継続的に設置を要望しており、検討してもらっていると承知している。

〔回答〕

- 当協議会からも、自治体に対して設置の要望書を提出してはどうか。〔意見〕

- 個人宅での設置は、必要性を感じないという人も多く、あまり進んでいない。〔意見〕
- 地域で防犯に取り組むという点では、自治体をお願いしたい。〔要望〕
- 設置の際には、警察のアドバイスをしてほしい。〔要望〕
- 賛同意見多数であり、事務局と協力して要望書を作成し、提出する。〔意見〕

(3) 外国人との共生について

- アンケートでは、外国人との共生について、交流のある人が少なかった。〔意見〕
- 私の会社には外国人の研修生が10数名おり、とても素直で優しい人ばかり。
日本人に馴染んでおり、社員旅行にも行った。
母国に仕送りをし、将来は日本に家を建てたいと言っている。〔意見〕
- 沼田警察署管内で外国人の犯罪はあるのか、また、外国人との共生施策を何かしているのか。〔質問〕
- 日本人と同様の刑法犯を認知しており、外国人特有といった内容ではない〔回答〕
 - ※ 各市町村別の外国人登録者数、人口比を説明
 - ※ 昭和村は人口比8.6%であり、大泉町に次いで外国人の割合が多い
- 共生施策について、警察では巡回連絡を通じ、指導、チラシ配布を行っている。
また、自治体や外国人を雇用する企業を会員とする「利根沼田地区国際連絡協議会」において、交通安全や110番通報に関する指導及び不法滞在や不法就労の防止対策など住民への呼びかけも行っている。〔回答〕

(4) その他協議

次回協議会（令和6年度第4回）の開催期日
令和7年2月26日(水)を予定